

## 地域のニーズにこたえて

## ④ 新函館農業協同組合

北海道教育大学函館校 地域協働推進センター

副センター長 佐藤 香織

北斗市の新函館農業協同組合（JA新はこだて大野基幹支店）から、技能実習生が日本人と交流したり日本文化を学んだりする機会を作りたいということで、函館校地域協働推進センターにご相談がありました。筆者のゼミに所属している坂本弘美さん（国際協働グループ3年）が、JA新はこだて大野基幹支店で、技能実習生のための日本語講師をボランティアで務めていることがこのご相談のきっかけとなっています。技能実習生の皆さんとの交流は、日本語教育や日本語学習支援を学んでいる本学の学生たちにとっても、大変貴重な機会です。今回は筆者のゼミ生5名と、北斗市のベトナム人技能実習生11名とで11月5日（土）に交流を行いました。

この日は、まず本学の学園祭（函教祭）を一緒に見学し、午後は西部地区観光を楽しみました。同年代どうしで、いろいろな話題について「やさしい日本語」でコミュニケーションしている姿が印象的でした。これからも継続して交流を続けていきたいと考えています。交流に参加したゼミ生2名の感想をご紹介します。

## ■学生の声① ————— 国際協働グループ3年 坂本 弘美

初めてお会いする実習生の方も「先生！」と呼んで迎え入れてくれてとても嬉しくなりました…一緒に勉強している実習生のみなさんとも、教室の外に出て交流したのは今回初めてだった上に、普段あまり出来ないような話（洋服・コスメ可愛い！とか、大学の話、地元の話…etc）も出来たのでとても新鮮でした！また、お互いに歳が近いというもあり「先生対生徒」ではなく、純粋に「同世代の女子同士」としての会話ができたのがすごく楽しかったです。技能実習生としてもう長い方の日本語はやはりさすがだなと思いましたし、今勉強しているみなさんも一生懸命言葉を繋いで話しかけてくれたのが印象的でした。普段はどうしても1対12のような形になってしまいがちですが、この日は技能実習生一人一人と同じ目線の高さで向き合うことができ、ぐっと距離を縮められたように感じました。

## ■学生の声② ————— 国際協働グループ3年 福田 葵

技能実習生のみなさんと函教祭やベイエリアを回ることができて楽しかったです！函教祭では吹奏楽やダンスを観たり、写真をたくさん撮っていてとても楽しそうでした。「先生もいっしょに！」と写真の真ん中に入れてもらったときはとても嬉しかったです！ベイエリアの金森倉庫ではアクセサリを試着して楽しそうにしている実習生が多かったです。外を歩いているときも写真を撮ったり、バスの中で話しながらラッキーピエロと一緒に食べることで楽しく過ごせました！また交流できる機会があれば参加したいです！

